

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり						
施策の基本方針								
<p>子どもを安心して生み育てることができるまちづくりを目指し、保育所定員の拡大など、保育サービスを充実するとともに、常設子育てサロンの拡大、子育て世帯専用の市営住宅建設など、地域に密着した子育て支援体制を充実します。また、切れ目のない母子保健サービスを提供できる体制を整備するなど、母子の健康支援を推進します。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)		
施策1 子育てと仕事などの両立支援								
	保育所整備事業	7,451,000	2,507,177	1,832,469			4,339,646	58.2
	家庭的保育事業	462,000	15,607	86,600			102,207	22.1
	事業所内保育施設の設置促進	40,000	0	30,000			30,000	75.0
	認可外保育施設運営支援事業	417,000	0	67,257			67,257	16.1
	私立幼稚園預かり保育運営支援事業	154,000	0	24,480			24,480	15.9
	ミニ児童会館等の新設	535,000	66,232	197,500			263,732	49.3
	放課後児童クラブの充実	688,000	63,485	204,200			267,685	38.9
	ワーク・ライフ・バランスの推進	40,000	420	10,000			10,420	26.1
	病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)	10,000	0	3,200			3,200	32.0
施策2 子どもと母親の健康支援								
	子ども医療費助成制度の拡充	146,000	0	30,600			30,600	21.0
	母子保健の充実	150,000	30,693	0			30,693	20.5
	(仮称)救急安心センターさっぽろの設置【再掲】	263,000	3,557	35,000			38,557	14.7
	ちゅうおうスタイル食育事業～未来につなげる食の大切さ～	3,000	0	1,133			1,133	37.8
施策3 地域での子育て支援の充実								
	地域子育て支援拠点事業	418,000	14,442	67,092			81,534	19.5
	区保育・子育て支援センター整備事業	594,000	230,933	0			230,933	38.9
	子育て支援住宅の建設(市営住宅東雁来団地新設)	2,235,000	3,413	1,273,021			1,276,434	57.1
	病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)【再掲】	10,000	0	3,200			3,200	32.0
	健やかな子育て支援事業～親子で元気ところからだ～	4,000	420	865			1,285	32.1
重点課題合計		13,620,000	2,936,379	3,866,617	0	0	6,802,996	49.9

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主なかい離の理由

23年度	【事業所内保育施設の設置促進】減:補助対象期間内に設置できる事業所がなかったため。 【ワーク・ライフ・バランスの推進】減:10月からの制度運用開始であったこともあり、融資の窓口や企業への周知に時間を要したため。
24年度	【事業所内保育施設の設置促進】増:当初より多くの企業から設置希望に対応するため。 【(仮称)救急安心センターさっぽろの設置】減:センターの設置工事が24年度から25年度に変更になったため。
4年間を通して	

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 子育てと仕事などの両立支援							
保育所整備事業							
1	保育所定員数	19,008人 (H23.4.1)	20,198人 (H24.4.1)				23,008人 (H27.4.1)
家庭的保育事業							
2	保育ママ数	6人	11人				40人
事業所内保育施設の設置促進							
3	事業所内保育施設設置補助件数(累計)	－	0件				8件
認可外保育施設運営支援事業							
4	児童福祉施設最低基準を満たす施設への補助件数	－	－				10件
5	市の認可外支援基準を満たす施設への補助件数	－	－				44件
私立幼稚園預かり保育運営支援事業							
6	預かり保育を実施する私立幼稚園に対する補助件数	－	－				70件
ミニ児童会館等の新設							
7	放課後の居場所のある小学校区数	164校区	169校区				202校区
放課後児童クラブの充実							
8	放課後児童クラブの対象学年	1～3年生	1～4年生				1～6年生 (25年度)
9	児童クラブの開設時間	8時45分～18時	8時45分～18時				8時～19時 (24年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進							
10	認証取得企業数	258社	304社				650社
病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)							
11	利用件数(病児・病後児)	700件	805件				1,024件
施策2 子どもと母親の健康支援							
子ども医療費助成制度の拡充							
12	子ども医療費助成の助成対象	小学生まで 助成対象	小学生まで 助成対象				中学生まで 助成対象 (24年度)
母子保健の充実							
13	情報システムの整備	－	設計				稼働 (24年度)
(仮称)救急安心センターさっぽろの設置【再掲】							
14	電話相談窓口の開設	－	－				開設 (25年度)
ちゅうおうスタイル食育事業～未来につなげる食の大切さ～							
15	中央区食育ネットワーク会議の設置	－	未設置				会議設置と協働事業の実施
16	食育事業参加者数	294人	327人				360人

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 地域での子育て支援の充実							
地域子育て支援拠点事業							
17 常設子育てサロン設置箇所数		11カ所	31カ所				97カ所
区保育・子育て支援センター整備事業							
18 区保育・子育て支援センター設置箇所数		6カ所 (H23.4.1)	7カ所 (H24.4.1)				8カ所 (H27.4.1)
子育て支援住宅の建設(市営住宅東雁来団地新設)							
19 子育て世帯専用市営住宅の整備戸数		—	—				40戸
病児・病後児預かり事業(緊急サポートネットワーク事業)【再掲】							
20 利用件数(病児・病後児)		700件	805件				1,024件
健やかな子育て支援事業～親子で元気ところからだ～							
21 地域の子育て支援者への研修(累計)		1回	2回				8回
22 リズム運動参加親子数		98組	99組				200組

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
1	子どもを生き育てやすい環境だと思う人の割合	54.6% (22年度)	53.2% (23年度)				70% (26年度)
		(検討中)					
2	子育てに関して不安や負担感を持つ保護者の割合	46.7% (20年度)	65.1% (23年度)				40% (26年度)
		(検討中)					
3	仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合	38.8% (22年度)	44.2% (23年度)				60% (26年度)
		(検討中)					
4	希望した時期に希望した保育サービスを利用できた人の割合	45.0% (22年度)	49.7% (23年度)				60% (26年度)
		(検討中)					
5	(就労等による留守家庭の場合)子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思う人の割合	— (22年度)	38.3% (23年度)				60% (26年度)
		目標値には足りないものの、ミニ児童会館等の整備を着実に進めるとともに、開設時間の延長を始めとした児童クラブの充実を図ることにより、今後の数値上昇が見込まれる。					
6	子育てについての相談体制に満足している人の割合	38.2% (22年度)	37.0% (23年度)				60% (26年度)
		(検討中)					
社会成果指標							
7	保育所待機児童数	1,339人 (23年度)	1,389人 (24年度)				0人 (27年度)
		(検討中)					
8	札幌圏で育児休業を取得した人数	9,763人 (22年度)	11,086人 (23年度)				13,000人 (26年度)
		子育てをしながら就労を継続したいと望む女性が増えていることに加え、企業側でも人材確保の面から環境整備に努めたことが、数値の上昇をもたらしたと考えられる。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	1	子どもを生き育てやすい環境づくり
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	子育てと仕事などの両立支援	
23年度の主な取組内容(実績)		
私立保育所の新設及び増改築に補助し、定員1,190人増。	保育ママを5人増員。	
事業所内保育施設の設置費用への補助制度を創設。	ミニ児童会館4カ所、放課後子ども館2カ所の整備。	
放課後児童クラブの対象学年を4年生まで拡大。	ワーク・ライフ・バランスを推進する助成制度を開始。	
24年度の主な取組内容(予定)		
私立保育所の新設に補助し、定員1,000人増。	保育ママを13人増員。	
事業所内保育施設設置費の一部を補助(10件)。	基準を満たした認可外保育施設に対する運営費助成を開始。	
私立幼稚園預かり保育運営費の一部を補助。	ミニ児童会館10カ所の整備。	
放課後児童クラブの対象学年を5年生まで拡大。	緊急サポートネットワーク事業(病児・病後児預かり)の利用料補助を開始。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【保育所整備事業】積極的な整備による定員増は行ったものの、経済状況の悪化に伴う就労希望世帯の増加も影響し、待機児童数は昨年と比べ増加しており、今後の保育需要に対応していく必要がある。</p> <p>【放課後児童クラブの充実】児童クラブ及び民間児童育成会の対象学年を拡大し、1,000人を超える4年生の登録があったことなどから、安全で安心な放課後の居場所づくりに貢献したものと考えられる。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【保育所整備事業】保育需要は増加の一途を辿っており、今後も保育需要の動向を見ながら、積極的な保育所整備を実施していく。</p> <p>【放課後児童クラブの充実】全ての小学生の留守家庭児童が、放課後を安全・安心に過ごし、健全な育成が図られるよう、開設時間の延長や放課後児童クラブの対象学年を6年生までに拡大していく。</p> <p>【ワーク・ライフ・バランスの推進】制度がより多くの企業に認知され、活用されるよう、効果的な広報のあり方及び事業内容の検証・見直しを進めていく。</p>		
施策2	子どもと母親の健康支援	
23年度の主な取組内容(実績)		
乳幼児健診等の情報を一元管理する情報システムの設計。	(仮称)救急安心センターさっぽろに関する基本構想を策定。	
24年度の主な取組内容(予定)		
乳幼児健診等の情報を一元管理する情報システムの稼働開始。	子ども医療助成費制度の対象を中学生にまで拡充。	
(仮称)救急安心センターさっぽろに関する運営体制などを検討し、体制を決定。	食育講座、専門学校と連携したセミナー等の実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【子ども医療費助成制度の拡充】札幌市医師会等をはじめとした医療機関等からの事業協力を得て、制度拡充を前倒しで実施しており、子育ての負担感軽減に寄与している。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【母子保健の充実】情報システムの稼働により、妊娠期からの健康診査、訪問や出産後の乳幼児健診などの親子の情報を一元管理することで、支援を必要とする親子に対して、成長に応じた切れ目のない支援を行うことが可能となり、保護者の負担感軽減に寄与する。</p>		

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	1	子どもを生み育てやすい環境づくり
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策3	地域での子育て支援の充実	
23年度の主な取組内容(実績)		
常設子育てサロンの設置数を20カ所増設。		北区保育・子育て支援センターを整備。
子育て支援住宅の基本設計。		親とのグループミーティングや学習会などを実施。
24年度の主な取組内容(予定)		
常設子育てサロンの設置数を22カ所増設。		子育て支援住宅の用地取得、実施設計。
緊急サポートネットワーク事業(病児・病後児預かり)の利用料補助を開始。		親とのグループミーティングや学習会などを継続実施。
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【地域子育て支援拠点事業】育児に関する相談や地域の親子が自由に交流することができる子育てサロンについて、更なる利用者の利便性向上のため、常設サロンの設置に取り組むことで、子育て中の保護者の不安や負担感を軽減することに貢献している。</p> <p>【区保育・子育て支援センター整備事業】入所申込はもとより、一時保育や子育て支援事業についても多数の利用者が訪れており、子どもを生み育てやすい環境づくりに一定の成果をあげている。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【地域子育て支援拠点事業】区と連携し情報収集や地域に身近な地域主体サロンとの連携や調整を行うなど、地域関係者との情報交換を進めながら、各地域の実態を踏まえた整備を進めていく。</p> <p>【子育て支援住宅の建設】安心して子どもを生み育てることのできる居住環境実現に向け、子育て世帯を対象とした市営住宅整備への着実な取り組みを進める。</p>		
協働の状況		
【家庭的保育事業】地域の一員である保育ママの居宅で保育を行う中で、住民と積極的に交流し、地域の子育て力の向上につながるような保育環境を醸成する。		
【放課後児童クラブの充実】児童会館・ミニ児童会館の活動に、市民のボランティア協力を得ながら、地域全体で子どもを育てていく環境づくりに取り組んでいる。		
【ワーク・ライフ・バランスの推進】融資の窓口となる金融機関への情報提供及び多くの企業に認知されるための関係機関との連携を進める。		
【(仮称)救急安心センターさっぽろの設置】医師会、看護協会などの関係団体と連携・協力し、センターのあり方やプロトコルを検討していく。		